



広島長崎の原爆

8月6日には国連の事務総長として潘基文(潘・基文)氏が初めて広島長崎の式典に参加。原水爆禁止を願う国民の運動が着実に成果を上げている。広島秋葉市長は平和宣言で「今こそ、日本国政府の出番です。核兵器廃絶に向けて先頭に立つために、まずは、非核三原則の法制化と核の傘からの離脱、そして世界すべての被爆者に援護策を実現すべき」と訴えた。

ところが、菅首相は同じ日に広島で「核兵器をはじめとする大量破壊兵器の拡散の現実もあり、核抑止力は我が国にとって引き続き必要

である」と発言。「核抑止力」を云々することは「核兵器に頼る」ことであり、頼るからには「核兵器を使う」事態を想定しなくてはできない。これが被爆国の首相か?と思う。

この菅首相の発言について、9日のテレビ朝日でなかにし礼さんは「核抑止力とは、相手が核を持っていたら、こちらも持って良いと云う正当化の言葉。イランだって、北朝鮮だって核を持つのが当然になる」と指摘していた。

「核の傘からの離脱」を訴える秋葉市長と「核抑止力は必要」との菅首相。

皆さんはどう思われますか?



縁日の露店

弘明寺商店街の観音橋にて
二〇一〇年八月三日

京浜急行弘明寺駅の名前の元になったのは瑞應山蓮華院弘明寺。寺伝では七三七年に行基が草庵を創り、一〇四四年に本堂が建てられたという。明治四四年に、仁王門前から鎌倉街道に接する農道が整備され直線の四間道路が完成、これが現在の弘明寺商店街。九八歳の義母によると、昭和初期にはその道の両側に大きな桜が植えられ、その脇に、茶店などがあつたと云う。

毎月八の日は本尊十一面観音の縁日で、三の日は聖天境内に弘法大師が奉安した「聖天堂」がある(の縁日。この縁日に参詣すると普段以上の御利益があると云われる。それで参拝者が多いから、露店が出るようになった。が、今では露店が出て賑やかだから、又、金魚すくいをしたい、射的をしたい、綿飴が欲しい、そして昨今は、お好み焼きを食べたいと出かける家族連れが多い。はて、御利益は?)